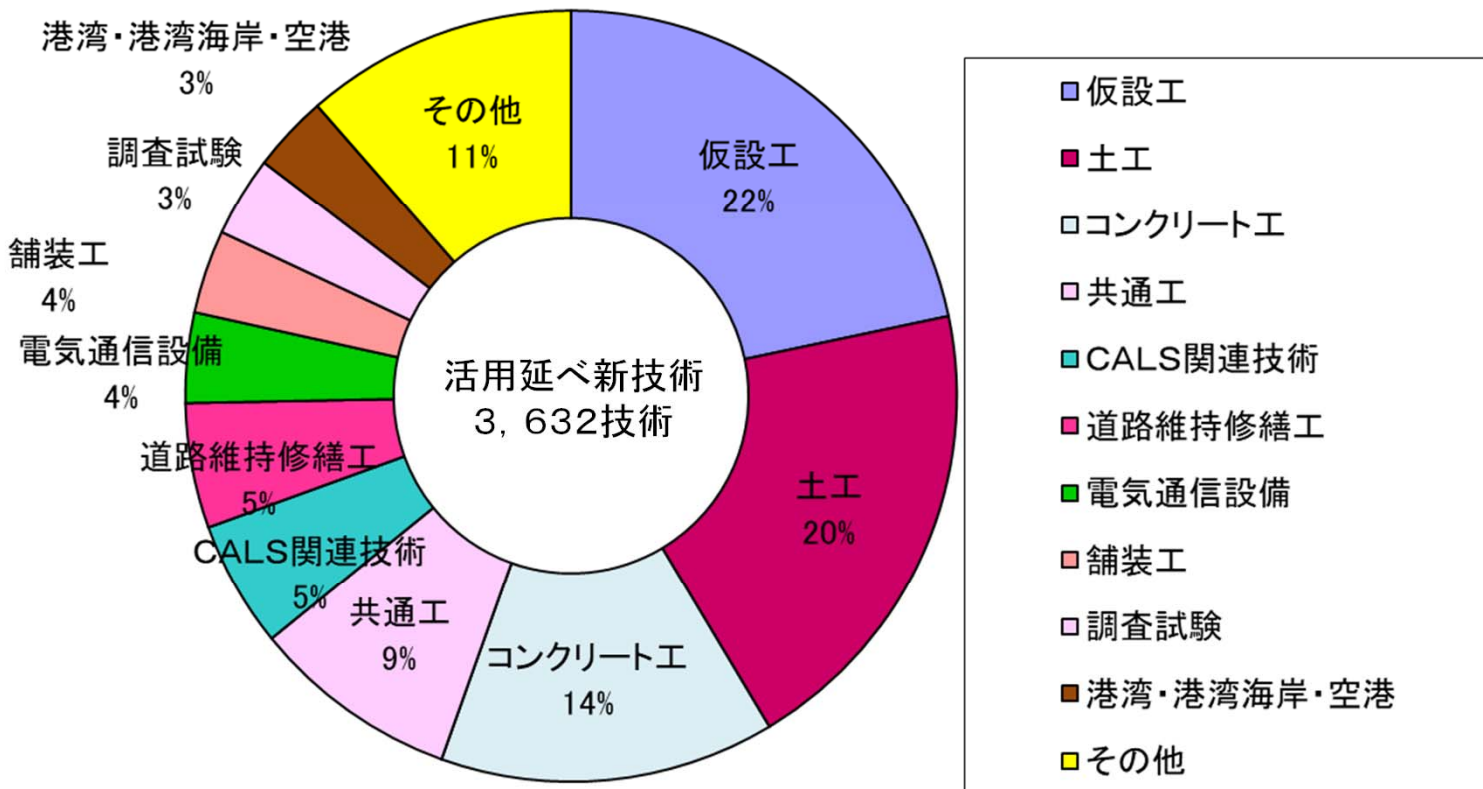


九州地方整備局管内の活用件数の多い工種

●新技術活用件数の工種別内訳は下記のとおりです。

令和3年度において、活用述べ新技術数3,632件のうち、もっとも多くの新技術が使われた工種は、「仮設工」でした。

次いで、「土工」、「コンクリート工」、「共通工」、「CALIS関連技術」、の順に、多く活用されていました。



活用延べ新技術数の工種別内訳

順位	工種ランキング	活用件数 (延べ技術数)
1	仮設工	788
2	土工	716
3	コンクリート工	510
4	共通工	316
5	CALIS関連技術	193
6	道路維持修繕工	190
7	電気通信設備	137
8	舗装工	127
9	調査試験	123
10	港湾・港湾海岸・空港	117
	その他	415
	合計	3632